

長女夫婦が二人目の出産を機に同居することとなり、一年以上が経ちました。以前は愛知県で一人目の長男を夫婦二人で頑張っていたのですが、さすがに2歳の子と0歳児の二人を育てることは、共働きの二人にとっては大変なことと思われました。育休があっても、昼間母親一人で二人の子供の面倒を見るとするのは至難の業でありましょう。一方の世話をしている時は、当然一方に目が届かなくなる。言葉でいうことを聞いてくれる年齢ならまだしも、2歳や3歳の男の子ですから、無茶なことをし出しますよね。食事の用意も洗濯もおちおちできないのが現状でしょう。お風呂は父親が帰ってくるのを待って入れるのですが、そりゃ育児ノイローゼになって当たり前だと思います。

先日、ニュースで、買い物に出る時、二人の子どもを浴槽に入れ、溺れないであろう少量のお湯を張って、母親は出かけたのですが、ほんの10分ほどの買い物の中に、二人の子供が溺れ死んでしまったとのこと。その不幸な事故に、思慮が足らなかったと母親を責める気にはなれませんでした。

母親一人で、二人の子どもの面倒を一日中見るということは、本当に大変なことなのです。核家族ではそうやって育てるしかないのですが、ちょっと10分間だけでも、面倒を見てくれる人がいるだけで、心に余裕が生まれてくる。おじいちゃん、おばあちゃんと同居、もしくは近くに住んでいるご家庭は合理的と言えましょう。昔は同居が当たり前だったのですが、仕事の関係上、同居が困難な時代と言えます。でも、亀山は3世代の家族が多い気がします。塾の送り迎えにおじいちゃんおばあちゃんが運転してくださっているのをよく見かけます。人間だけなのですよ、祖父母と孫という関係があるのは。ちなみに我が家ではひいおばあちゃんまでいて、そのひいおばあちゃんもひ孫の面倒を見てくれるので助かっています。子どもを怪我なく健全に育てる為には、多くの人の支えと行政の支援が必要です。

亀山は、中学生まで医療費の補助があり、また、津波の心配もないことなどから、若い夫婦が市外から転居を希望する方が増えているとのこと。親だけでなく、地域皆で協力しながら、幼い子を育てる、そんな心豊かな市になって欲しいものです。それから、小児科の名医である落合仁先生が亀山にいらっしゃるのも、育児に安心をもたらす、亀山の魅力の一つだと思います。



連絡事項

算数検定、数学検定

検定日時 2017年1月28日(土) 14:00~

漢字検定

検定日 2017年1月28日(土) 10:00~、15:00~

しっかりと勉強してから、検定に臨みましょう。